

長崎歴史文化博物館及び長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム指定管理者候補者の選定結果について

1. 施設概要

- (1) 名称：長崎歴史文化博物館
所在地：長崎市立山1丁目1番1号
- (2) 名称：長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム
所在地：長崎市松が枝町4番27号

2. 指定管理者候補者

名称：株式会社乃村工藝社
代表者：代表取締役 社長執行役員 榎本 修次
所在地：東京都港区台場2丁目3番4号

3. 選定経過

(1) 募集期間

令和3年3月30日～6月21日（84日間）

(2) 応募団体（1者）

株式会社乃村工藝社

(3) 選定方法

指定管理者選定委員会（令和3年8月6日）

- ・ 応募者によるプレゼンテーション、質疑応答の実施
- ・ 採点、審査、候補者選定

(4) 選定委員（50音順）

区分	氏名	職名
委員長	鶴田 貴明	公益財団法人ながさき地域政策研究所 理事
委員	赤羽 耕介	赤羽公認会計士事務所 公認会計士
〃	岩崎 義則	九州大学大学院 人文科学研究院 歴史学部門 准教授
〃	亀井 正弘	株式会社黒川紀章建築都市設計事務所設計統括部長
〃	小坂 文乃	日比谷松本楼代表取締役社長
〃	立平 進	前長崎国際大学教授
〃	渡邊 太志	一般社団法人九州観光推進機構 専務理事 事業本部長

- (5) 選定結果 (390点×6名=2,340点満点)
①株式会社乃村工藝社 1,572点
※審査基準及び採点結果については、別紙1「審査基準
及び採点結果」のとおり
※委員7名中6名の出席あり

- (6) 選定理由
- 長崎歴史文化博物館は他の都道府県博物館に比べ入場者が多く、かつ来館者満足度も高いことから、これまでの運営は高く評価された。
 - 今回の提案においても、意欲的な経営目標として年間40万人程度の集客が提案され、その実現に向け、研究成果を活かした展示や企画展を中心に、専門書を扱うミュージアムショップや魅力的なレストランの経営など、民間事業者ならではの工夫とノウハウを生かした運営が提案されたことも高く評価される。
 - 長崎市では九州新幹線西九州ルートの開業のほか、出島メッセ長崎や長崎スタジアムシティ構想など、100年に一度といわれるまちの変革期にある。こうした状況の中、さらなる調査研究の進展と県全体への回遊促進のため、県内各地の博物館や大学、離島や遠隔地などとの連携が積極的に提案されていることは、今後、大きな期待を抱くところである。

- (7) 議事要旨
別紙2「選定委員会議事要旨」のとおり

- (8) 事業計画書
株式会社乃村工藝社 事業計画書
(長崎県文化観光国際部文化振興課において閲覧できます。)

4. 今後のスケジュール

- (1) 令和3年9月定例県議会に議案提出
- (2) 議決後、指定管理者として知事が指定
- (3) 指定管理期間
令和4年4月1日～令和10年3月31日(6年間)

5. 問い合わせ先

〒850-8570 長崎市尾上町3番1号
長崎県文化観光国際部文化振興課 文化施設振興班
TEL:095-895-2768 FAX:095-829-2336
Email: s38010@pref.nagasaki.lg.jp